

令和6年度「学校における手話及び手話言語条例の普及・啓発事業」の実施報告

実施状況 計8校



(小学校)

- ・富山市立水橋東部小学校 4・5年生 15名
- ・富山市立柳町小学校 4・5年生 51名
- ・富山市立堀川南小学校 手話クラブ 18名
- ・黒部市立若栗小学校 5年生 15名

(中学校)

- ・富山市立榆原中学校 全学年 30名

(高等学校)

- ・富山県立氷見高等学校 3年生 生活福祉課「課題研究(保育福祉)」選択者 23名
- ・富山県立高岡商業高等学校 3年生 「生活と福祉」選択者 23名
- ・富山県立小矢部園芸高等学校 全学年 48名

2 主な活動内容

- ・聴覚障害についての講義
- ・挨拶や自己紹介等の簡単な手話表現を学ぶ 等



3 活動の様子



4 児童生徒の感想

- ・手話が一つの言語であることがよく分かりました。
- ・手話は手を動かすだけでなく、表現や口の動きもつけることが大切だと学びました。
- ・手話は、最初難しそうなイメージがありましたが、実際にやってみて、片手だけで平仮名を表すことができたり、自分の名前ができていたりして、うれしさと同時に手話の楽しさに気付けた気がしました。

等